第379回:ブチ切られた VOA 放送

このごろ中国の政界を騒がせている有名人といえば、なんと云ってもナゾの政商・郭文貴氏(50)だろう。 中国政府は不動産や金融業務で財をなし、現在米国に潜伏中の同氏を、先月巨額汚職の容疑で国際刑事 警察機構(ICPO)を通じて指名手配した。関連記事の中には、彼の後ろ盾の中には諜報活動の監視摘発を 担当する国家安全部の元次官で、汚職容疑で摘発された馬建氏(61)も含まれているという。

この手の情報には飛ばし記事も多く、鵜呑みにはできない。そこで関係者の対応を調べると、中国外交部は、「ICPO が既に郭文貴に対する手配書を出したと理解している」と述べている。ICPO は内容確認に応じていないが、米司法省は個別事案にはコメントできないと云いつつ、米国は「腐敗との戦いを進めるために世界中のパートナーとの協力を続ける」と述べていることから、情報は本物のようだ。因みに米中は犯罪人引き渡し条約を結んでいないが、両国は過去に容疑者の強制送還で協力した実績がある。

中国の経済誌で、中国製造業購買担当者景気指数(PMI)のスポンサーとして知られる「財新(CAIXIN)」は2年前、郭文貴を「権力猎手(権力の狩人)」とする特集記事を組み、彼を警察、金融、行政等の汚職官僚と太いパイプを築き、巨万の富を築いた典型的な政商と批判したことがある。

ただ、このおっさんがユニークなのは、香港パスポートを持って、米国にいれば身の安全は保障されると思っているのか、やたら人前で喋りまくっていることだ、しかも面白おかしく。

今年に入り米華字ネットのインタビューで、胡錦濤時代のチャイナ・ナインで、共産党の検非違使のような 役割を勤めてきた賀国強(74)のスキャンダルを暴露したのは可愛い方で、過去には習主席の不正蓄財に も具体的な金額を挙げ切り込んだことのある怖いもの知らず、大胆な御仁である。

事件は4月19日に起きた。郭文貴氏は米政府系放送局ボイス・オブ・アメリカ(VOA)に出演し、賀国強の 後任で、現役序列第6位、王岐山(69)中央規律検査委員会書記のスキャンダルについて話しはじめた。

王岐山氏といえば習主席が最も信頼する側近として有名だが、郭氏によると、習主席は王岐山ファミリーの腐敗不正を疑っており、いま密かに調査を行っているという。もし本当であれば習政権の基盤を揺るがす大事件だ。誰もが固唾を呑んで VOA を聴いていたとき、番組は謎の停電によってブチッと中断され、そして放送予定が3時間の同番組は、その1時間で打ち切られてしまった。

VOA は実質米政府が運営するメディアであり、これまで中国に批判的な報道を続けてきた。偶々先日の米中首脳会談が成功し、両国はいま蜜月関係にあることから中国が影響力を行使したのか、それとも米国がが「ヤバい!」と思って自主規制したのか、前代未聞の事件となってしまった。

「おしゃべり郭さん」は、口が軽く、ときに糞も味噌も一緒にする過激発言が持ち味で、誰もが半信半疑で聞いていた。郭氏はかつて前記「財新」のオーナーで、舌鋒鋭い汚職追放報道から「中国で最も危険な女」と恐れられている胡舒立女史(64)と、王岐山氏の「ただならぬ関係」を暴露したことがある。ところが、郭氏が「二人の間には私生児がいる」とまで云い切ってしまうと、誰もが「やっぱりガセネタか」と思う。

そんなわけで、胡散臭い奴だと誰もが思ってきた同氏の放言だが、こと本件に限っては VOA が周章狼狽、

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。



証言を打ち切ったことから、にわかに信憑性を帯びてきた次第である。

今秋中国は5年に一度の共産党大会(19大)を迎える。習近平主席が任期の5年を終え、二期目に突入 するシナリオだが、同氏としては権力基盤を固めるために河北省、福建省、浙江省、上海市等の行政官を 勤めていたときに知り合い、友情と信頼で結ばれている仲間をできるだけ多く登用したい考えである。

一方、その妨げとなりかねない抵抗勢力は、胡耀邦から始まり胡啓立、胡錦濤、李克強に連なる共産党 保守本流の「共青団」派と、習指導部が腐敗追及キャンペーンの標的にしている江沢民派であろう。

江沢民派では前最高指導部の周永康(75)や、制服組トップの将軍たちが数多く失脚させられているが、 今年 91 歳になる江御大と、その大番頭・曽慶紅(78)は未だ健在だ。この数年、習指導部は曽慶紅氏と緊密 な関係にあった要人を数多く検挙しており、司直の手が曽氏本人まで伸びるのか注目されている。

同様に、共青団派は国家副主席の李源潮氏(67)の去就が注目されている。彼は 5 年前の党大会で、同 じ共青団系の汪洋副首相(62)と共に最高指導部入りがほぼ確定と見られていたのだが、意外にも落選した。 「習近平、李克強を除けば最も若い君たちは 2017 年の党大会で最高指導部入りが可能だ。一方張徳江 (71)や兪正声(72)たちは、68 歳定年ルールの関係で今回がラストチャンスだから、先輩に道を譲ってくれ」 ということだったのだろう。

だから李源潮は政治局員だが国家副主席に抜擢された。彼の前任の副主席を遡ると、習近平、曽慶紅、 胡錦濤の豪華メンバー、つまり副主席は李源潮の次期最高指導部入りを担保する約束手形なのだ。

ところが爾後の雲行きが怪しくなり、李源潮氏がむかし江蘇省の書記を勤めていたとき、彼の脇を固めて いた側近の王珉(遼寧省書記)、仇和(雲南省副書記)等の側近が腐敗の廉で続々失脚している。曽慶紅は 面倒見の良い太子党派の大物、李源潮氏は比較的清潔な政治家と見られてきたが、中国の政治家を叩け ば誰だって埃が出る。両氏は運悪くリーチを掛けられた。あとは習主席の政治判断を待つのみだ。

これまでやられる一方で、ボコボコにされてきた江沢民派、共青団派だが、彼らにも切り札はあるはずだ。 おしゃべり郭さんが、誰によって起用されたのか興味あるが、いずれにしても三つ巴の権力闘争は、水面下 でのカードを見せ合いは終わり、そろそろ「某氏の中南海入りと引き換えに、某氏の牢屋入りは了承する、 でも死刑だけは勘弁してね」といった個別交渉に入っているのだろう。(了)

(注:年齢は今年末時点の満年齢である)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。 平成29年5月10日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、 三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学 同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職 著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等



最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

- (1) 株式の手数料等およびリスクについて
- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420%(税込み)、最低 3,240 円(税込み)(売却約定代金 が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額)の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大 0.8640%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。 外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および 為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、 本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320%(税込み)、最低 2,700 円(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

